

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

ファイザー社製

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは16歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンはファイザー社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約95%と報告されています。）

販売名	コミナティ [®] 筋注
効能・効果	SARS-CoV-2による感染症の予防
接種回数・間隔	2回（通常、3週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	16歳以上（16歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1回0.3 mLを合計2回

- 1回目の接種後、通常、3週間の間隔で2回目の接種を受けてください。（接種後3週間を超えた場合は、できるだけ速やかに2回目の接種を受けてください。）
- 1回目に本ワクチンを接種した場合は、2回目も必ず同じワクチン接種を受けてください。
- 本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1） 明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2） アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。
 本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 当日の激しい運動は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（ファイザー社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となるmRNAを脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種によりmRNAがヒトの細胞内に取り込まれると、このmRNAを基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ トジナメラン（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードするmRNA）
添加物	◇ ALC-0315：〔（4-ヒドロキシシブチル）アザンジル〕ピス（ヘキサン-6,1-ジイル）ピス（2-ヘキシルデカン酸エステル）
	◇ ALC-0159：2-〔（ポリエチレングリコール）-2000〕-N,N-ジテトラデシルアセトアミド
	◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン
	◇ コレステロール
	◇ 塩化カリウム
	◇ リン酸二水素カリウム
	◇ 塩化ナトリウム
	◇ リン酸水素ナトリウム二水和物
	◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

新型コロナウイルス 接種のお知らせ

2回接種！

接種費用
無料
(全額公費)

ワクチン接種までの流れ

1 予約をする

※常滑市を転出された場合は、予約ができなくなります。
転入先の市町村へご相談ください。

ワクチン接種の予約は、電話かインターネットで予約をしてください。
ワクチンの効果を十分得るために、同じ種類のワクチンを一定の間隔を空けて、
2回受ける必要があります。1回目の予約をした際に、2回目の予約についても
ご案内します。予約の際は接種希望日時・会場（詳細別紙）をお聞きします。



電話予約・相談

常滑市

ゼロに コロナ

コールセンター: 0570-02-5677

4月27日(火)
9:00より
受付開始!

(受付時間: 平日・9:00~16:00)

※接種券をお手元にご用意ください(接種券番号をお聞きします)

ネット予約

常滑市予約受付サイト

予約サイト
QRコードは
こちらから

サイトアドレス: <https://v-yoyaku.jp/232165-tokoname>

※コールセンター・予約サイトの利用方法は、別紙(白色)をご覧ください。

2 接種を受ける

接種当日は、以下の持ち物を接種会場へ持参してください。



- ・接種券(このお知らせに同封されています)
- ・予診票(事前に記入してからお持ちください)
※治療中の病気がある人は、かかりつけ医へ相談してから、予約をしてください。
- ・本人確認書類(運転免許証、健康保険証等のうち1つ)
- ・お薬手帳等(服用している薬がわかるもの)…お持ちの方のみ

当日の
持ち物

服装



・肩の出しやすい**半袖の服**で、マスクを着用してお越しください。

※同封された接種券は、2回分の「接種券」と「予防接種済証」が1枚になっています。
毎回、切りはなさず台紙ごとお持ちください。

※接種前にご自宅で体温を測定し、明らかな発熱がある場合や体調が悪い場合などは、
当日でも接種をやめ、予約を取り直してください。

3 接種場所の確認方法

集団接種会場か医療機関で接種ができます。

集団接種が中心ですが、治療中の病気がある等でかかりつけ医での接種をご希望の方は、医療機関でも接種を受けられる場合があります。

※接種を受けることができる医療機関は変更する場合があります。

※開催日・時間は施設の状況により変更となる場合があります。予約時にご確認ください。

集団接種 会場

保健センター

住所：飛香台3丁目 3番地の3
(市民病院正面玄関からは、入れません。西側玄関よりお入りください。)

市体育館

住所：金山字下砂原
78番地の1
(1階 市民サロン)

サザンアリーナ

住所：苅屋字加茂
151番地
(南陵市民センター内)

個別接種 実施医療機関

同封の「接種会場案内」、コールセンター、広報、下記のコロナワクチンナビ等でご確認ください。

詳しくは右の 接種総合案内サイト「コロナワクチンナビ」をご確認ください。

「コロナワクチンナビ」サイトアドレス：<https://v-sys.mhlw.go.jp>

※ コロナワクチンナビで直接予約をすることはできません。

※ 医療機関や接種会場を探すことができない場合は、表面のコールセンターへお問い合わせください。

※ 入院中・施設等入所中の方等を除き、ワクチンは住民票のある市町村（住所地）で受けます。住所地以外でのワクチン接種については、下記をご覧ください。



「コロナワクチンナビ」
QRコード

◎ 住民票がある場所（住所地）以外での接種について

・入院・入所中の医療機関や施設でワクチンを受けたい方

→ 医療機関や施設でご相談ください。

・基礎疾患があり治療中の医療機関でワクチンを受けたい方

→ かかりつけ医でご相談ください。

・お住まいが住所地と異なる方

→ 実際にお住まいの地域でワクチンを受けられる場合があります。コロナワクチンナビでご確認いただくか、実際にお住まいの市町村の相談窓口にお問い合わせください。

◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です

現在、治療中の病気がある方や、体調など接種に不安がある方は、かかりつけ医等とご相談の上、ワクチンを受けるか決めましょう。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、首相官邸ワクチン特設ページをご覧ください。

官邸 コロナ ワクチン 検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

